

令和8年度 大田区立小池小学校 学校経営方針【概要版】

小学校教育の目的は、こどもたち一人一人の能力を伸ばし、社会において自立的に生きる基礎を培い、将来の社会を担う人間を育成することです。日々の教育活動では、生命及び自他の尊重を基盤として、**基礎的な学力の確実な定着、思いやりや規範意識の育成、体力の向上、生活習慣の定着**を図っていきます。第4期大田区教育振興基本計画「おおた教育ビジョン」に基づき、こどもたちに「**笑顔とあたたかさあふれる未来を創り出す力**」を育てることを目指して、「**保護者・地域と共に、未来を創り出す力を育てる学校** -コミュニティ・スクール小池-」の実現に取り組んでいきます。

学校経営の基本方針

1 こどもが楽しく登校し、喜びの中で育つ学校

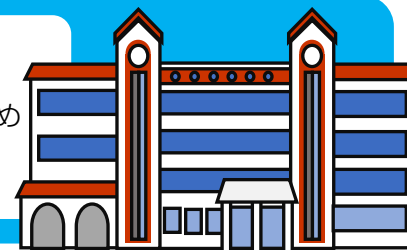
- コミュニティ・スクール制度を生かした地域連携を推進し、生活・総合の学習活動や、区独自教科「大田の未来づくり」の探究的学習活動、望ましい学習集団づくりを柱として、よりよい未来を創り出す力を育てる教育を推進していきます。
- 児童用タブレット端末の有効活用をはじめとして、授業の工夫・改善を図ることにより、学ぶことの楽しさを味わわせ、学習意欲の向上を目指します。
- 学習・生活両面の学習活動等を通じて、学級を中心とした集団活動の中で、自らの存在の大切さを自覚させるとともに、望ましい人間関係形成能力を育み、他者と協働して社会の問題をよりよく解決しようとする意識や態度を育てます。
- 体育的な活動の充実を通して、体力の向上とスポーツに生涯親しむ意識を育てます。
- いじめ、不登校等をはじめとした児童の様々な困難の予防に努め、早期発見と組織的な解決を図ります。

2 保護者から信頼され、安心してこどもを預けられる学校

- 学校の教育活動等について、積極的な情報提供を行い、学校教育に対する保護者の理解を深めます。
- 安全点検、安全指導、保護者と連携した見守り体制等を一層充実し、事故予防を徹底するとともに、万が一の事故・災害の発生時には、児童の身体・生命の安全を第一に、迅速かつ適切な対応に努めます。
- 保護者の相談を共感的に受け止め、家庭教育への助言や支援を行います。
- 保護者会や、PTA組織の活動などを活用し、保護者同士が交流し、連携して、共にこどもを育てる態勢を整えます。

【教育目標】 知恵があり 人の心を思いやり 心身ともにたくましい子

教育目標に示されたこどもたちの姿は、現在をより豊かに生きるとともに、未来社会をより良いものとして創りだしていくための大切な力を表しています。単なる知識・技術を身に付けるだけでなく、それをよりよく生かすための「**知恵**」、多様な他者と協働していくための「**思いやり**」、困難に立ち向かい乗り越えていく「**たくましさ**」を、学習・生活を通じて育てていきます。



3 地域に愛され、共にこどもを育む学校

- コミュニティ・スクール制度を活用し、地域関係者等の知見を集め、地域社会の期待に応える教育活動を進めます。
- 地域人材と連携し、地域環境を活用した学習で、こどもたちに地域に対する感謝と愛情を育み、地域と共にある学校づくりを推進します。
- 地域自治会や関係機関と連携して地域の防災拠点としての機能を高め、地域住民の安心・安全の確保に努めます。
- 学童保育施設の校内設置準備等、地域の状況を踏まえた、学校施設の有効活用を進めます。

4 教員が自らの職責を誇りに思う学校

- すべての教職員が、職務の崇高な使命を自覚し、こどもに対する愛情を基調とした質の高い教育活動を目指す学校組織を作ります。
- 校内研修活動を一層充実し、教職員も「共に学ぶ」ことで、「授業で勝負できる教師」、「教育課題に適切に対応できる教師」を育てます。
- 教職員が、個性や能力、経験等を最大限に活かして職務に当たり、互いに高め合い、支え合うことのできる組織を作ります。
- 管理職は、教職員の適切な労務管理を行い、業務内容の適正化や長時間労働の抑制等の「働き方改革」を推進し、安心して働ける学校風土を醸成します。